青森県に TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

高度技術指導班 6 名を追加派遣！

～令和 3 年 8 月 11 日東北地方整備局にて出陣式～

東北地方整備局では、令和 3 年 8 月に発生した温帯低気圧に伴う大雨により、甚大な被害が発生した青森県むつ市等に、小赤川橋の落橋調査等のため、高度技術指導班 1 班 6 名体制の TEC-FORCE の第２陣派遣にあたり、8 月 11 日（水）17 時より、東北地方整備局にて出陣式を行いました。

稲田局長から「8 月 9 日からの温帯低気圧による大雨により甚大な被害が青森県で発生している。特に、むつ市や風間浦村では土砂崩れにより、地域が孤立しているなど、非常に地域の方々がお困りになっている状況。日頃より東北地方整備局が地域から信頼されているのは『現場力』であり、日頃培ってきた『現場力』をいかんなく発揮し、地域の期待にしっかりと応えて頂きたい。」という激励の言葉がありました。

これに対して今回編成された TEC-FORCE の手間本隊長より「被害に遭われた地域の皆様が、一日でも早く安全･安心な生活を取り戻すことができるよう、私達の技術･知識･経験を活かし、全力で活動して参ります。」と決意表明がありました。

▲出陣式の様子（稲田局長からの激励）

▲手間本班長による決意表明

▲記者の取材を受ける手間本班長